

北米社会科教師がオンラインで企業、学校を訪問し、 シンポジウムで成果を発表

—北米社会科教師オンラインプログラム—

期間：2021年6月15日～30日

経済広報センターが開催した「北米社会科教師オンラインプログラム」の参加者は、6月15日の藤崎一郎元駐米大使との意見交換に引き続き、22日にソニーのショールーム「SONY SQUARE」をオンラインで訪問した。映画、音楽、ゲームといった日頃からなじみのある分野だけでなく、コンセプトカー「VISION-S」やオンライン授業に役立つ板書読み取りシステムなどについても紹介があり、大きな反響があった。

24日には、筑波大学附属高校をオンラインで訪問し、教員との意見交換に加え、生徒代表との懇談も行った。その後、「アーミテージ・ナイ報告書」を教材とした「政治・経済」の授業風景も中継され、日米同盟の変化や現状に関するグループディスカッションの様子を見学した。

プログラム最終日の30日には、「初等中等教育現場におけるICT活用、オンライン化の実態と産官学連携の重要性」と題するオンラインシンポジウムを開催。埼玉県戸田市の戸ヶ崎勤教育長による基調講演に続くパネルディスカッションのなかで、北米社会科教師の代表3名が、北米各地における産学連携の事例などについてプレゼンテーションし、日本企業の視聴者からも活発な発言があった。

経済広報センターでは、引き続き、過去の招聘プログラム参加者を交えたオンラインでのイベントなどを年度内に実施し、来年度は通常の招聘プログラムを再開する予定。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。